



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 74 号
2021年1月20日
編集兼発行人
谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI

令和最初の初日の出

撮影者：大津 博昌

撮影日：令和2年1月1日

撮影場所：高萩市高浜海岸

撮影余話：新年を迎えるにあたって初日の出を撮影するのを通例としている。毎年元日の朝、無病息災、五穀豊穡を願って行われる神事「神輿渡御」を初日の出と共に撮影した。神輿の担ぎ人は極寒の朝にもかかわらず、裸で白足袋ふんどし姿で勇ましく、日の出と共に打ち寄せる波に向かって入水する姿は神々しく映る。大勢の見物客がその一瞬を見るため暗いうちからかがり火を囲みながら日の出を待つ年初めの一大イベントとなっている。



新年を迎えて

支部長 住川 雅晴



明けましておめでとうございます。ご家族みなさまで明るい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。昨年末には世界で感染者 8,200 万人、死者 180 万人を超える大規模な被害になってしまいました。人の移動制限による経済の世界的低迷など、経験したことのないことばかりでした。我が国も、未曾有のコロナ禍への対応の難しさを経験しました。この国の将来を託す政治体制をどのように構築するのかを一人一人が考えなければならぬ現実を突きつけられました。

今年こそは、ワクチンの普及でコロナ禍が終息し、世界経済の活況が戻り、延期された東京オリンピックが開催され、新しい世界秩序の構築が始まり、歴史に残る年になることを願っています。

当茨城支部では、大甕クラブの大改修で不便な環境ではありましたが、コロナ禍での新しいエチケットである「マスク着用、手洗い、ソーシャルディスタンスの確保」を守っての活動を展開していただきました。10を超える同好会での延べ 100 回に及ぶ活動で、元気なシニアパワーの存在を示していただきました。歩こう会、野鳥・自然観察、卓球と身体を動かす楽しさだけでなく、パソコン、写真五七五、デジカメなど幅広く活動していただきました。

更に、シニアの専門性と経験を活かして子供たちに物事の仕組みを理解し、科学の楽しさを体験して将来大きく育ててもらいたいとの地域貢献活動である「日立理科クラブ」も 13 年目に入ります。

当支部の活動を通して明るいシニアライフが更に隆盛になることを願っています。今年が皆様とご家族にとって明るく健康な年でありますことを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

茨城支部からのお知らせ

- ① 第 70 期第 1 回日立社友クラブ理事会報告
 - ・会員候補者から 13 名が入会を承認され、本部会員総数は 7,315 名となった。
- ② 2020 年 12 月茨城支部役員会報告
 - ・支部入会申込者 5 名の入会が承認された。
 - ・支部の拠点を 9 月末まで現状の泉山クラブとする。
 - ・支部会員は、980 名(2020 年 9 月時点)となった。
 - ・会員募集活動を支部全体で取り組む。

茨城支部総会のご案内

2021 年度第 119 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。

1. 期日：2021 年 5 月 28 日(金) 11:10~14:30
2. 会場：ホテル天地閣

新型コロナウイルスの感染状況により変更になる場合があります。詳細内容は後報します。

「理科室のおじさん」急募

日立理科クラブからのお知らせです。

週 2 日間ほど、日立市内の小学校へ出向いて、理科授業の先生のお手伝い(準備・整備・後片付け)をしていただける方を募集しています。現在のおじさんの後継としてバトンタッチしたいです。「子ども好き・科学好き・モノづくり好き」な方、是非お願いします。

連絡先：日立理科クラブ 担当：畑山・香川

TEL・FAX: 0294-24-3104

E-Mail: hsc-rikakurabu@net1.jway.ne.jp

日立理科クラブの歩みと共に

～「モノづくりの楽しさ」と「科学のふしぎ」を子どもたちに～ 畑山 直勝



はじめに

2008年4月の初め、トルコ旅行を終えて無事、日立に帰って来ます。2019年6月には、創立10周年記念式典を開催し、市民の皆さま、学校関係者、児童生徒ほか多数の方々にご出席いただきました。一方、2018年11月には、「読売教育賞」理科教育部門最優秀賞、2019年9月には日立市市制80周年式典で「教育文化功労表彰」、同じく11月には「茨城県表彰」を受賞しました。

壮麗なブルーモスクやアヤソフィア、奇岩が林立する Cappadocia など、数々の素晴らしい景色を堪能した満足感と心地良い旅の疲れでのんびりとした時間を過ごしていた時、突然、日立社友クラブ茨城支部長(当時)の佐藤一男さんから「桜も満開だし花見をやらなにか」との電話があり、早速、土産に買って来たワインを1本持つて、夕方、平和通りに面したあるお店に出かけました。佐藤さんからはその時初めて日立理科クラブ創設についての「おもい」をお聞きして、退職後の生き方について考える大きなインパクトを受けたのを今もはっきり覚えています。これが、今日まで私が日立理科クラブと関わりを持つようになったきっかけです。

日立理科クラブ創設の狙いやいきさつなどについては、佐藤さんが茨城支部便り第61号(2017年10月号)に詳しく記述されているので、ここでは、その続編として、主に最近の活動状況を紹介いたします。

日立理科クラブの創設からの経緯
日立理科クラブは2009年5月の設立以来、日立製作所をはじめとする企業や日立市からの暖かいご支援のもと、科学好きな小中学生の育成を目指して企業や教育界からの約100名のシニアがボランティアとして活動しています。お陰様で学校現場の先生方や保護者からも厚いご支持をいただき、自作教材を進化発

展させながら将来の人材育成の一助を担うようみなんで頑張っています。2019年6月には、創立10周年記念式典を開催し、市民の皆さま、学校関係者、児童生徒ほか多数の方々にご出席いただきました。一方、2018年11月には、「読売教育賞」理科教育部門最優秀賞、2019年9月には日立市市制80周年式典で「教育文化功労表彰」、同じく11月には「茨城県表彰」を受賞しました。

「理科室のおじさん」は市内全25小学校におじさんを週2日理科室に派遣し、理科実験の準備や片付け、先生の授業補助などを行っています。実験を楽しみにしている子どもたちにも人気者で、昼休みに理科室に遊びに来る子どもたちも多くなっています。

「授業支援」は学校からの依頼により、手づくり教材を持参して実験主体で生活と科学、製品と理論の理解の橋渡しをしています。「光の性質」、「もの

の温まり方」、「振り子」、「電気」の性質など、年間の支援授業は300時間以上です。理科アカデミーは、興味・関心の高い小中学生を対象にクラブ内で月1回(日曜日)の学年別理科と算数・数学のハイレベルな手づくり講座です。理工学博士などのエキスパートが工夫を凝らした教材を用いた講義を行っています。更に科学技術振興機構(JST)「ジュニアドクター育成塾」にも参加しています。その中で受講生が主体的・対話的な学びを取り入れ、特別なテーマを持つて科学者体験の出来る自由研究コースも設けています。その研究成果は各種の発表会で優秀な成績を収めています。



授業支援(力の実験)



理科室のおじさん



理数アカデミー(先端研究施設の見学)

「科学ふしぎ発見教室」は水ロケットやレーシングカーの製作教室を毎月開催し、年1回その成果を競い合う大会を開いています。性能を向上させるために工夫・改良をする中で「科学のふしぎ」を発見し、子どもたちは大喜びです。

「モノづくり工房」は毎月開催の工作教室を通じて子どもたちは「モノをつくる楽しさ」を実感しています。理科クラブ内には卓上旋盤や、ボー

指導をしています。「地域科学教室」は日立市や近隣で開催される「青少年のための科学の祭典」や地域交流センターでの親子教室などを実施しています。



水ロケット大会

畑山 直勝氏 連絡先
〒316-0011 日立市塙山町 1-2-6
電話: 0294-35-4245
メール: naohata@ml0.alpha-net.ne.jp

リレー随筆 (74)

「写真五七五」と私

後藤 伸穂



「ざる碁」「へぼ将棋」という言葉がある。同じ意味で、俳句・川柳では「駄句」という。自らの句を「拙句」と称していたが、それなりの出来の句を謙遜して言うのが「拙句」だそうで、ずいぶん思い上がった奴だと思われたのではと、恥ずかしい限りである。

「写真五七五」に加わったのは、2018年の春の支部総会に出席して会場ロビーの作品を鑑賞していた際に、かつての職場の先輩に(かなり強引に)勧誘されたことによる。先の勤務先仲間とのダジャレ川柳もどき経験や写真への興味から、無謀にも「拙句」を携え翌月の例会に出させていただいたのだが、季語の使い方や日本語の誤りに厳しい評が飛び、多少は笑ってもらえるかなと参考回覧した「ダジャレ川柳もどき 会報」には一言もなく、帰路かなり落ち込んだことが懐かしい。

以降、「駄句」の連発ではあるが、稀に出るヒット作を2020年写真展のポスターに加えていただけのようになってきてはいる。



2020年写真展ポスター作品

2020年4月から副世話人をお引き受けしており、茨ネットでの例会案内にある私の名を見たとして昔の同僚から「写真五七五」への加入の申し出があって、毎月彼らしい感覚での力作

を見られることもうれしい。

例会向けに月々手元に集まる会員諸氏の作品写真に見入ったり、友人のSNS上の写真に「いいね」などをしていくうちに、寝ていた子が起きた。かつて交換レンズを揃えカメラの重さも気にせず歩き回ったりもしたが、いつの間にかスマホカメラどまりになっていた写真への想いがふつふつと湧いてきて、一眼レフカメラを購入してしまった。最新の多様なデジタル機能に感心しつつ読む取説の複雑さに苦労しており、家人からは「良いおもちゃができたね」と言われている。ただし、このカメラでの写真で例会での好評を…と思うのは、五七五にあつては本末転倒であろう。

コロナ禍影響を配慮してのメール例会が続く中、Web例会なども検討しているうちに、やはり集まっての会話での句評や雑談をとの声も上がり、12月例会は10ヶ月ぶりにニューノーマルとしての会場開催となった。相変わらず誤字脱字ばかりのメール配信



12月例会参加の皆さん

ながら少しは手馴れてきたメール例会諸事遂行から変わっての会場開催であったが、久しぶりの肉声での句評や感想の交換ができたことがなによりである。

会員の皆さんの理解と協力のおかげで何とか副世話人をやっていけそうだが、同好会活動が皆さんとともに充実し長く続くことを願っている。かくして、「写真五七五」は70歳になった私の2020年を、記憶に残るであろう味わいのあるものにしてくれた。

同好会行事に参加して

「研修会」

鈴木 正



研修会は、公共施設・企業・神社仏閣・歴史的建造物・名勝地等の広範囲の中から、時節に合わせて計画され毎回楽しみに参加しています。第81回研修会は、新しくなった豊洲市場とNHK放送博物館の見学でした。放送博物館は大正14年に放送が開始された愛宕山に昭和31年開館され、放送開始から90余年のラジオ・テレビ・衛星放送からデジタル放送に大きく進歩発展された歴史を知ることができました。展示品からはテレビ用カメラの技術改善により小型・軽量化に改良され少人数のスタッフで撮影ができることを知り、アナウンサーとカメラ位置などの映像模擬体験もして、放送歴史の一部を知る有意義な研修会でした。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事が中断していることが残念です。研修会行事再開を願っています。

「写真五七五」

志田 統一



俳句にまったく縁のなかった私が誘われるままに参加して早や3年が経ちました。俳句は季語を用いて五・七・五の十七音で詠みますが、「写真五七五」の場合、写真から感じとった思いを俳句のほか、川柳など多様な表現で詠める楽しみがあります。毎月の例会で会員の方々から批評を頂き、表現方法や言葉使いなど多くのことを学んでおります。今年は新型コロナ感染防止のため、

3月からメール開催に切り替えています。これまで同様、メールで多くの感想や意見などが交わされています。

いつだったか、勉強会で大和言葉の情緒的でやさしい響きを再認識し、句を詠むときは出来るだけ大和言葉を用いるよう心掛けています。日本人なら誰もが持つ共通のなつかしい感情が句を詠むたびに沸き上がってきます。四季折々の風物や風景から感じ取るものを自分の人生と重ね合わせて素直に詠める句を作りたいと思っています。

「PC専門講座」

山本 圭一



昔は、同じ職場にコンピュータの専門家が大量にいて不便は有りませんでした。今は毎日が日曜日になり、自分だけの力ではOfficeの進化に追いつけず、歯痒い思いをしていました。そんな時にOffice基本講座が開始されました。安田世話人による講座は、具体的なサンプルを使ってワーキングする方法に加えて解説が丁寧なので、今まで使ったことが無いようなExcel関数とその使い方等々が順次分かってきました。参加して良かったと喜んでいますが、でも、直ぐに記憶が失ってしまう今日この頃、必要な時に記憶を呼び戻せるようにと、復習も兼ねて一覧表の自作を始めました。講座はこれからも続くので、益々面白い内容になるものと次の参加を楽しみにしています。

コロナ禍の中で安田世話人と関係各位には会場確保と機材準備から講習費の原価低減まで骨を折っていただき大いに感謝しています。

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第 87 回研修会【福島県浜通り方面】

3月16日(火)で計画していましたが、新型コロナウイルス感染症対策を実施できないため中止と決定しました。

世話人：奥村 清

Tel：090-1252-7396

E-mail：kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

2. 第 84 回歩こう会【静峰公園の八重桜&うりづらロマン・ロードを歩く】

静峰公園の八重桜と近くに点在している名所、神社、そして寺院などを巡りながら歩きます。

- ・開催日：令和3年4月23日(金) 雨天4月30日(金)
- ・集合：JR水郡線瓜連駅 午前10時
- ・コース：瓜連駅発(10:00)→常福寺→素鷲神社→桂木稻荷神社→手接足尾神社→静峰公園(昼食)→静神社→斎藤監物の墓→古徳沼→瓜連駅着
静古徳古道は多少の上り下りあり。他はほぼ平坦(全長7.9km)
- ・持参品：弁当、雨具、飲物、マスクなど
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：令和3年4月16日(金)
- ・申込先：小野瀬 秀夫 Tel/Fax：029-282-4124
E-mail：h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		2月	3月	4月			
野鳥・自然観察グループ	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	15(月)			潤沼	9:00～12:00	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			15(月)		高戸海岸	9:00～12:00	
				26(月)	奥久慈憩いの村	9:00～12:00	
囲碁の会	日立地区 真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	10(水) 24(水)	10(水) 大会 24(水)	14(水) 28(水)	別途指定	10:00～(大会9:30～)	参加費：¥100/回 大会：¥1000
	26(金)	26(金)	30(金)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@nifty.com	18(木)	18(木)	15(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	並木慎一郎 029-283-1476 s-namiki@themis.ocn.ne.jp	15(月) 22(月)	15(月) 22(月)	19(月) 26(月)	らぼーるひたち	9:45～	参加費：¥1700/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@herb.ocn.ne.jp	3, 10, 17(水)	3, 10, 17(水)	7, 14, 21(水)	会瀬体育館	9:00～12:00	参加費, 会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	1(月)	1(月)	5(月)	別途指定	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohru92@road.ocn.ne.jp	5(金)	5(金)	2(金)	水木交流センター	9:00～12:00	参加費：¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	2(火)	2(火)	-	別途指定	10:00～15:00	参加費：¥200/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	9(火)	9(火)	6(火)	別途指定	10:00～15:00	参加費：¥1100/回 昼食代含む
	勝田地区 佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	23(火)	23(火)	27(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費：¥500/回
	Office基本講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	25(木)	25(木)	22(木)	別途指定	10:00～15:00	参加費：¥1100/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

訃報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

朝倉 重次	令和2年 9月 11日	満 89歳
徳永 赳	令和2年 10月 14日	満 84歳
黒澤 光明	令和2年 11月 9日	満 97歳
船渡川 俊	令和2年 11月 16日	満 80歳
牛窪 基之	令和2年 11月 21日	満 80歳
桑原 健次	令和2年 11月 29日	満 97歳

編集後記 畑山さんの理科クラブの歩みも13年目を迎え、日立の小中学生、先生方に定着し、科学に興味、関心を高める活動が評価され、社会貢献支援財団等からも表彰されたとのこと。本当に立派な活動に育っており、関係者のご努力に感謝。後藤さんの写真五七五、写真の構図とそれにマッチングした俳句両方のスキルが発揮される高尚な趣味ですね。仲間との批評会でレベルアップを図り、コロナ禍での3密を意識した例会も良き思い出ですね。

谷口 正俊